

Road to  
ソウル  
**Soul**  
**ごはん**  
東海篇

がんもなのに甘い!?  
外カリッ、中フワッの  
食感がクセになる逸品

がんもなのに甘い!?  
外カリッ、中フワッの  
食感がクセになる逸品



昔から愛され続ける  
地元ごはんをご紹介

“豆味噌文化圏”として知られる東海地方の郷土料理といえば、朴葉味噌や味噌カツなど、こってりとした味付けの料理が有名です。今回は、東海地方のある地域に根付いた、ユニークがつくとなるソウルフードをご紹介します。

スイーツ  
がんも

静岡県富士地区



富士市や富士宮市で100  
年以上の歴史を持つという味付け

あんかけスパ  
愛知県名古屋市



ごはんのおともにピッタリ!  
厳しい寒さが生み出した郷土の味

岐阜県北西部に位置する飛騨市  
や高山市を中心とした飛騨地方の料理。嚴寒期に適した漬物を  
溶かし、朴葉にのせて焼いたのが始まりといわれています。漬物と  
鉄板で焼き、味噌やしょう油で味付けをして卵でとじ、かつお  
ふしやネギと散らすのが一般的です。ごはんにもお酒のつまみ  
にも合い、郷土料理店や居酒屋などで味わえます。地元では「漬けスズ」と呼ばれて愛されています。

極太パスタとピリ辛ソースが  
ベストマッチ!

名古屋市民の定番メニュー

名古屋市とその近郊で親しまれる「なごやめし」のこと。大ぶり・ごろりの極太パスタを茹でてからフライで炒めて、コンショウの辛さがピリ辛となったところのあるソースをからめて食べる「炒めスパ」です。トッピングの具材はいろいろあります。が、ハム野菜の「ミラカン」が定番です。昭和30年代に「ペゲティハウスヨコイ」で誕生したとされています。

漬物ステーキ

岐阜県飛騨地方

